

愛の友協会特別賞

三重県／16歳／女性／高校生

おくもと あさか

奥本 朝香 様

『手紙の相手・おばあちゃんへ』

おばあちゃんへ

小さい時からたくさん遊んでくれてありがとう。昔は毎日のようにおばあちゃんの家に行きたないと駄々をこねとったの覚えるかな。それでお母さんに何回も怒られたけど、その度に大丈夫、嬉しいよと言つてくれる顔が大好きだつたよ。車に乗れないから「めんね」と言つて夏の暑いときに自転車で買い物に行つたり、バスに乗つておかげ横丁に行って赤福氷を一人で半分にして食べた時間が懐かしいな。あとは小学生のときに家まで帰るときに会えないからと携帯越しにしりとりをしたりして遊んだね。なかなかの通話料金だったと思つたからお手紙を書いたりしたよね。

四日ぐらい経つと郵便ポストの中に手紙が入つていてそれが嬉しくて、何度も読み返したんだよ。だいたい真っ白の無地とお手製の

イラスト入りだつたけど、またに送つてくれる可愛いキャラクターのレターセットは私の好きなキャラクターで驚いたのを覚えているよ。私の剣道の大会が新聞に掲載されたときは切り抜いて壁に貼つてくれていたね。ちなみに今でも貼つてあるよ。剥がさんとの聞くど思い出やがら絶対あかんという真剣な顔が嬉しかつたんだよ。中学の時からかな部活とか、学校とか言い訳になかなか遊びに行かなくなつても応援しとるでと言つてくれて安心して過ごせたけども、やっぱり会えない日が続いて、それでもたまに会いに行つたときは長くてまじまつてない話を笑顔で聞いてくれてありがとう。高校の受験の前にはメッセージも書いてくれたよね。あれで受験頑張れたよ。合格の連絡をしたときには泣いて喜んでくれたよね。なんだか照れくさくて対応に困つたけども自分のことのように喜んでもらつて嬉しかつたよ。今は怪我の具合はどうなのかな。お見舞いもコロナのせいで行けなくて「めん。早く良くなつていつかまた一緒に出かけようよ。

『手紙への想い』

感謝と素直な気持ちを中心に書きました。大好きで大切な祖母にいつも自分は応援されていたので、今度は自分が入院生活を頑張つている祖母を応援したい。いつか元気になつたら一緒に出掛けていこうねという思いで書きました。